

a) 主要漁協市場水揚量調査

b) 主要魚種水揚量調査

市場 沖縄県漁連・那覇地区漁協・糸満漁協

魚種 ハマダイ・ハマフエフキ・スジアラ・アオリイカ

4. 調査結果

1-1 カツオ竿釣

1) 体長測定結果

6月に24°-25°N、125°-126°E(宮古島近海)で漁獲された魚体の体長範囲は43-51cm、モードは47cm台にみられ小判群であった。9月に23°-24°N、123°-124°E(八重山南)で漁獲された魚体の体長範囲は46-70cm、48cm台にモードをもつ小判群と66cm台にモードをもつ大判群がみられた。昭和56年3月に16°N、129°E附近で漁獲された魚体の体長範囲は40-46cm、モードを44cm台にもつ小判群であった。同じく3月の13°-14°N、130°-133°E附近の魚体の体長範囲は

51-59cm、モードを54cm台にもつ中判群であった。同じく3月に16°-17°N、129°E附近の魚体の体長範囲は41-71cm、43cm台にモードをもつ小判群と、67cm台にモードを持つ大判群がみられた。魚体の大きさは前年と同じであった。

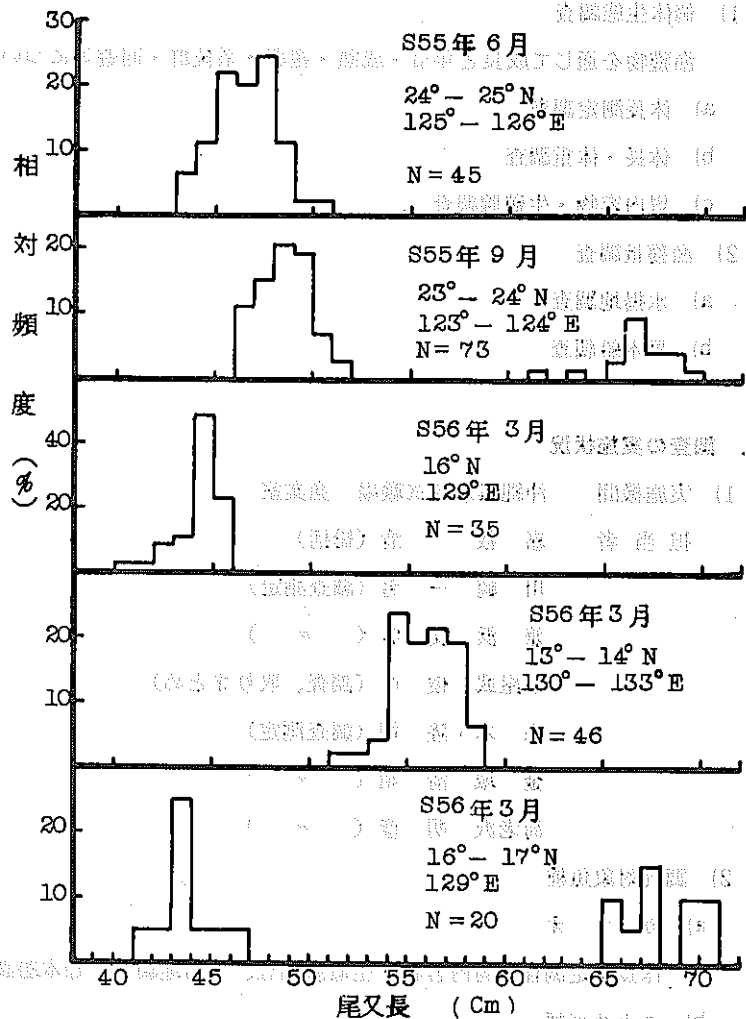


図1-1 カツオ体長組成

2) 肥満度調査結果

6月に24°-25°N、125°-126°E附近で漁獲された魚体の肥満度の範囲は17-24、モードは21台にみられた。9月に23°-24°N、123°-124°Eに附近の魚体の肥満度の範囲は16-25、モードは18台にみられた。昭和56年3月に16°N、129°E附近の魚体の肥満度の範囲は15-20、モードは18台にみられた。同じく3月に13°-14°N、130°-133°E附近の魚体の肥満度の範囲は16-21、モードは18台にみられた。同じく3月に16°-17°N、129°E附近の魚体の肥満度の範囲は16-24、モードは18台と21台にみられた。最も肥満度の高い魚体は9月に23°-24°N、123°-124°E附近で漁獲され、最も肥満度の低い魚体は3月に16°N、129°E附近で漁獲された。

3) 胃内容物・生殖腺調査結果

6月24日に漁獲された魚体の生殖腺指数は、♀が3.4-7.6の範囲で平均6.06、♂が1.1-7.2の範囲で平均3.69、胃内容物重量の範囲は0-72.0g、平均15.21g、胃内容物はまき餌のカタクチイワシとイカ類、不明魚であった。9月1日の魚体の生殖腺指数は♀が2.2、♂が1.9-4.3の範囲で平均3.13、胃内容物重量の範囲は13.5-151.0g、平均56.30g、胃内容物はトビウオ科、カワハギ科、イカ類、まき餌、不明魚であった。3月17日に漁獲された

魚体の生殖腺指数は、♀が0.6-1.4の範囲で平均0.95、♂が1.4-3.2の範囲で平均2.23であった。胃内容物重量の範囲は9.0-65.0g、平均31.3gであった。3月20日に漁獲された魚体の生殖腺指数は、♀2.0、3.8、♂の範囲が3.4-6.3、平均4.8であった。胃内容物重量の範囲は8-131g、平均60.8gであった。胃内容物はまき餌のカタクチイワシ、マイワシ、カワハギ科、ニザダイ科、トビウオ科、ホウボウ、ヤカラ類、チョウチョウウオ目幼魚、ソーダガツオ属、シャコ、アリマ幼生、が出現した。3月21日に漁獲された魚体の生殖腺指数は、♀が2.6-4.1の範囲で平均3.27、♂は3.3と4.0であった。胃内容物重量の範囲は39.0-190.0g、平均98.4g

調査期間・調査内容等 (一) 表

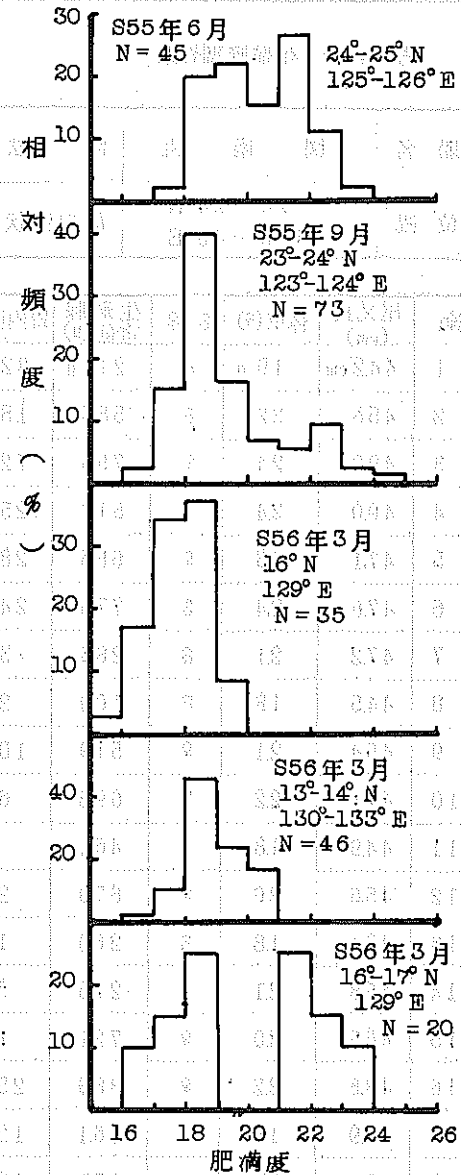


図1-2 カツオ肥満度組成

表1-1 カツオ胃内容物・生殖腺調査票

胃内容物・生殖腺調査票						魚種名
						カツオ
船名	函 南 丸		漁 法	カツオ竿釣	漁獲年月日	昭和55年6月24日
位置	24°-24'N 125°-46'E		群の性状	鳥 付	測定年月日	昭和55年7月1日
No.	尾又長 (cm)	体重(g)	♂ ♀	生殖腺 重量(g)	胃内重(g)	胃 内 容 物
1	44.2	1.9	♂	21.1	32.1	魚
2	45.5	2.2	♂	58.6	18.6	不明魚
3	49.0	2.4	♀	75.5	72.0	カタクチイワシ (マキ餌)
4	49.0	2.4	♂	51.2	25.5	"
5	47.1	2.3	♀	65.5	28.4	"
6	47.6	2.4	♂	77.5	24.0	"
7	47.2	2.1	♂	28.8	3.0	"
8	44.5	1.8	♂	10.0	2.0	魚消化物
9	45.4	2.1	♀	51.9	10.0	"
10	47.1	2.2	♀	69.3	6.7	カタクチイワシ (マキ餌)
11	44.9	1.8	♀	46.1		な し
12	45.6	2.0	♀	67.0	2.8	カタクチイワシ (マキ餌)
13	43.1	1.8	♂	26.0	1.3	魚消化物
14	45.8	2.1	♂	27.5	5.3	"
15	46.5	2.0	♀	72.1	1.2	"
16	48.5	2.2	♀	38.9	25.0	カタクチイワシ (マキ餌)
17	43.9	1.8	♂	16.1	12.5	"
18	47.6	2.1	♂	35.6	13.0	消化物
19	45.9	2.1	♀	64.8	22.2	カタクチイワシ (マキ餌)
20	44.9	1.9	♂	28.8	8.0	"
21	45.8	2.1	♀	52.8	20.4	"
22	43.9	1.9	♀	38.4	0.4	消化物
23	46.0	2.0	♀	67.3	3.9	"
24	45.9	2.2	♂	55.9	35.0	カタクチイワシ (マキ餌)
25	44.2	1.9	♀	65.4	6.9	イカ類、消化物

表 1-1 カツオ胃内容物・生殖腺調査票

調査年度 昭和55年 調査内容 胃内容物・生殖腺

胃内容物・生殖腺調査票						魚種名
						カツオ
船名	函 南 丸		漁 法	カツオ竿釣	漁獲年月日	昭和55年9月1日
位置	23°-08' N 124°-352' E		群の性状	素 群	測定年月日	昭和55年9月1日
No	尾又長 (cm)	体重(g)	♂♀	生殖腺 重量(g)	胃内重(g)	胃 内 容 物
1	49.0	22	♂	51.0	30.0	まき餌、トビウオ科
2	47.0	1.8	♀	22.5	3.1	"
3	47.0	1.9	♂	22.0	13.5	不明魚(半消化)
4	50.0	2.5	♂	52.0	151.0	まき餌、トビウオ科、カワハギ科
5	49.2	2.0	♂	23.0	56.0	" イカ類、不明魚

胃内容物・生殖腺調査票						魚種名
						カツオ
船名	函 南 丸		漁 法	カツオ竿釣	漁獲年月日	昭和56年3月17日
位置	16°-11' N 129°-40' E		群の性状	鳥 付	測定年月日	昭和56年3月17日
No	尾又長 (cm)	体重(g)	♂♀	生殖腺 重量(g)	胃内重(g)	胃 内 容 物
1	42.7	1.4	♀	5.0	23.0	カタクチイワシ、マキ餌、シラス
2	44.2	1.5	♀	6.5	9.0	シラス
3	43.3	1.4	不	明	14.0	"
4	43.2	1.5	♂	16.0	46.5	"、カタクチイワシ、マキ餌、ミズン
5	41.6	1.4	♂	16.5	65.0	"、マイワシ、マキ餌、不明魚
6	43.9	1.6	♀	12.0	17.0	"、不明魚
7	44.6	1.7	♀	9.0	28.5	カタクチイワシ、マキ餌、その他
8	43.5	1.6	♂	26.0	39.0	"、マイワシ、マキ餌、ソーダガツオ属
9	43.1	1.4	♂	11.5	47.0	"、マキ餌、シラス
10	43.5	1.5	不	明	24.0	"、マキ餌、ソーダガツオ仔魚、イカ類、シラス

表 1-1 カツオ胃内容物・生殖腺調査票

調査船名・調査内容等 [ ] 欄

胃内容物・生殖腺調査票							魚種名 カツオ	
船名	図南丸	漁法	カツオ竿釣	漁獲年月日	昭和56年3月20日			
位置	13°-09' N 131°-48' E	群の性状	鳥付	測定年月日	昭和56年3月20日			
No.	尾又長 (cm)	体重(g)	♂♀	生殖腺重量(g)	胃内重(g)	胃内内容物		
1	548	3.1	♂	560	260	カタクチイワシ、マキ餌、カワハギ科 シエコ幼生、アリマ幼生		
2	548	3.1	♀	620	1310	カワハギ科、ヒザダイ科、アリマ幼生 カタクチイワシ、マイワシ(マキ餌)		
3	538	3.0	-	-	-	-		
4	587	3.7	♀	400	1150	イカ類、ホウボウ、アリマ幼生、マイワシ カタクチイワシ、マキ餌、トビウオ科、ヤガラ		
5	559	3.3	-	-	-	-		
6	545	3.2	♂	760	80	チョウチョウウオ、目幼魚、魚類不明		
7	560	3.5	♂	1100	240	カタクチイワシ、マキ餌、ソーダカツオ属		

胃内容物・生殖腺調査票							魚種名 カツオ	
船名	図南丸	漁法	カツオ竿釣	漁獲年月日	昭和56年3月21日			
位置	14°-13' N 130°-40' E	群の性状	鳥付	測定年月日	昭和56年3月21日			
No.	尾又長 (cm)	体重(g)	♂♀	生殖腺重量(g)	胃内重(g)	胃内内容物		
1	558	3.5	♂	700	880	トビウオ科、シャコ幼生、カタクチイワシ マキ餌、マイワシ		
2	550	3.2	♀	430	1300	トビウオ科、カタクチイワシ(マキ餌)		
3	582	3.5	♀	610	390	" (マキ餌) オウム目、不明魚		
4	545	3.1	♂	540	450	" 、マイワシ (マキ餌)		
5	543	3.2	♀	660	1900	" 、シャコ幼生		

表1-1 カツオ胃内容物・生殖腺調査票

胃内容物・生殖腺調査票						魚種名	カツオ
船名	南丸	漁法	カツオ竿釣	漁獲年月日	昭和56年3月23日		
位置	17°-00' N 128°-50' E	群の性状	鳥付	測定年月日	昭和56年3月23日		
No.	尾又長 (cm)	体重(g)	♂♀	生殖腺重量(g)	胃内重(g)	胃内内容物	
1	67.6	6.8	♀	186.0	285.0	台湾アイノコ、ソーダカツオ属、不明魚	
2	70.2	7.5	♂	191.0	227.0	カタクチイワシ (まき餌)	
3	65.9	6.3	♀	84.0	148.0	台湾アイノコ、イカ類	
4	68.0	7.3	♂	249.0	164.0	カタクチイワシ マイワシ (まき餌)	
5	69.1	7.5	♀	291.0	285.0	台湾アイノコ、カタクチイワシ マイワシ (まき餌)	
6	70.2	7.5	♀	258.0	265.0	台湾アイノコ	
7	65.5	6.5	♂	260.0	224.0	"	
8	67.3	7.0	♀	122.0	172.0	"	
9	69.7	7.5	♀	212.0	75.0	"	
10	66.5	6.3	♂	115.0	-	-	

であった。胃内容物はトビウオ科、まき餌のカタクチイワシ、マイワシ、シャコ幼生、オウム目が出現した。優占種はトビウオ科であった。3月23日に漁獲された魚体の生殖腺指数は、♀が2.9-8.8の範囲で平均5.92、♂が3.9-9.3の範囲で平均6.65であった。胃内容物重量の範囲は75.0-285.0g、平均205.0gであった。胃内容物は台湾アイノコ、ソーダカツオ属、イカ類、まき餌のカタクチイワシ、マイワシであった。台湾アイノコはすべてに出現した。

4) 漁獲量調査結果

昭和55年の本部の漁獲量は322,759kgで前年の111%であった。1隻当り漁獲量は107,586kgで漁獲量同様前年の111%であった。盛漁期は8月で、前年は漁期前半であったが今年は漁期後半であった。平良の漁獲量は118,818kgで前年の102%で前年並、1隻当り漁獲量は29,704kgで前年並であった。盛漁期は前年より1ヶ月早く8月であった。伊良部の漁獲量は619,024kgで前年の157%で大巾に増加した。1隻当り漁獲量は103,170kgで前年の131%で漁獲量同様増加した。久松の漁獲量は3,418kgで前年の28%で大巾に減少した。石垣の漁獲量は991,408kgで前年の170%で大巾に増加した。1隻当り漁獲量は110,156kgで前年の189%で

表1-2 近海カツオ一本釣漁業月別漁獲量

地 域	月		4 月	5	6	7	8	9	10	合 計	隻 数
	年	年									
沖 縄 本 島	54	54	59,226	42,772.5	50,850.5	44,055.5	45,223.5	41,685	5,875	289,671.5	3
	55	55	36,490	28,533	51,808	54,623	71,433	57,827.5	220,445	322,759	3
渡 名 喜	54	54	資料欠								1
	55	55	資料欠								1
※1 小 平	54	54	59,226	42,772.5	50,850.5	44,055.5	45,223.5	41,685	5,875	289,671.5	4
	55	55	36,490	28,533	51,808	54,623	71,433	57,827.5	220,445	322,759	4
伊 良 部	54	54	—	14,105	20,431	29,466	18,433	34,070	—	116,505	4
	55	55	—	—	23,639	40,882	48,059	6,238	—	118,818	4
久 松	54	54	—	27,163	7,385.8	11,286.6	12,018.0	60,232	—	394,299	5
	55	55	—	—	183,923	241,227	112,990	80,884	—	619,024	6
小 石	54	54	—	—	—	—	—	—	—	1,236.0	2
	55	55	—	—	—	—	3,418	—	—	3,418	2
石 垣	54	54	—	—	—	—	—	—	—	523,164	11
	55	55	—	—	—	—	—	—	—	741,260	12
与 那 国	54	54	—	—	—	—	—	—	—	582,239	10
	55	55	—	—	—	—	—	—	—	991,408	9
※3 小 計	54	54	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	55	55	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合 計	54	54	59,226	84,040	281,328.5	432,146.5	310,593.5	209,504.5	5,875	1,395,074.5	26
	55	55	36,490	28,533	477,684	684,280	484,838	321,557.5	220,445	2,955,427	26

※1 渡名喜の資料は含まず。

※2 久松の資料は含まず。

※3 与那国の資料は含まず。

表1-3 南方カツオ〜本釣漁業会社別・基地別漁獲量

単位：トン

会社名	基地名	年		3月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	隻数	1隻当り 水揚量	
		54	55														
大洋漁業	ソロモン	54	—	—	1,415.5	3,215.6	2,902.9	3,114.6	2,052.8	2,080.3	2,792.5	3,590.6	2,361.1	23,525.9	19	1,238.2	
		55	—	—	2,144	1,063.1	1,081.2	2,605.8	284.15	284.68	3,293.3	3,366.2	2,818.8	20,181.1	22	917.3	
	パ ラ オ	54	—	—	2,480	2,631	4,311	6,164	7,820	2,382	—	—	—	—	2,578.8	4	644.7
		55	64	64	591	559.1	3,588	2,97.3	2,98.5	1,404	299	—	—	—	1,749.5	4	437.4
海外漁業	ラ バ ウ ル	54	—	—	4,517	1,266.2	11,700	7,735	4,405	5,700	2,782	1,363	—	—	5,086.4	9	565.2
		55	150.6	150.6	3,429	3,083	3,984	3,447	7,391	6,125	8,766	9,946	5,372	—	53,049	8	663.1
スターキスト	キ ャ ピ ア ン	54	—	—	3,033.3	1,627.0	1,755.0	1,954.4	1,844.6	1,151.7	664.7	770.0	—	—	12,800.7	22	581.9
		55	276.8	276.8	4,681.8	1,505.6	2,215.0	1,991.3	3,200.9	2,601.7	2,390.1	1,934.9	1,548.0	—	19,346.1	21	921.2
合 計		54	—	—	5,148.5	6,371.9	6,259.0	64,589	51,199	40,402	37,354	44,969	23,611	—	43,991.8	54	814.7
		55	433.8	433.8	2,298.2	3,436.1	4,053.4	52,391	70,800	62,014	65,899	62,957	49,040	—	465,316	55	846.0



漁獲量同様大巾に増加した。盛漁期は前年同様7月であった。今年は沖縄本島、宮古、八重山とも漁は良く、総漁獲量は2,955,427 kgで前年の212%で大巾に増加した。

南方基地の総漁獲量は46,531.6トン、前年の106%で若干増加した。1隻当り漁獲量は846トンで前年並であった。基地別にみると、ソロモンの漁獲量は20,181.1トンで前年の86%、1隻当り漁獲量は917.3トンで前年の74%で漁獲量同様減少した。盛漁期は前年同様11月であった。パラオの漁獲量は1,749.5トンで前年の68%、1隻当り漁獲量は437.4トンで前年の68%で漁獲量同様減少した。漁期は前年より2ヶ月も長く、盛量期は5月であった。ラバウルの漁獲量は5,304.9トンで前年の104%、1隻当り漁獲量は663.1トンで前年の117%で漁獲量同様若干増加した。漁期は前年より2ヶ月長く、盛漁期は11月であった。キャピアンの漁獲量は19,346.1トンで前年の151%、1隻当り漁獲量は921.2トンで前年の158%で漁獲量同様大巾に増加した。漁期は前年より2ヶ月長く、盛漁期は8月であった。4基地合計の漁獲量の月別推移は、今年の月平均漁獲量は4,653トンで平均を上廻る3月は7~12月の6ヶ月であった。前年の月平均漁獲量は4,888トンで平均を上廻る月は4~8月の5ヶ月間であった。今年は前年より安定した漁であった。

#### 5) 標本船調査結果

沖縄北西海域で操業するカツオー本釣船(49トン、本部漁協所属)を標本船に指定し、漁況報告の送付を受けた。

昭和55年度の標本船は4月から10月まで出漁し、漁獲量は129,314 kg、出漁日数は115日、1日当り漁獲量は1,124.5 kgで、すべて前年以上であった。漁場は4月に中ノソネ附近、5月には粟国島北側海域、6月は琉球ソネ、粟国島北側から相ノソネ、偉業ソネにかけての広い海域、7月は琉球ソネ附近、8月は琉球ソネから粟国島北側海域にかけて、9月は琉球ソネから大正ソネの東側海域、10月とは論島周辺海域であった。魚体は4月には小判、5月から7月にかけては小判混じりの中判主体、8月から10月は大判主体であった。総漁獲量に占める各銘柄の組成は大判42%、中判34%、小判24%であった。前年は小判が67%を占めたが今年は大・中判で76%を占めた。また、前年みられたヒリカツオはみられなかった。

表1-4 標本船調査漁獲量

単位：kg

月	総漁獲量	魚 体				操業日数	1日当り漁獲量
		大判	中判	小判	ヒリ		
4	14,660.5			14,660.5		11	1,332.8
5	13,369		3,347.5	10,021.5		13	1,028.4
6	20,431.5		14,332.5	6,099		26	785.8
7	18,524.5		18,524.5			20	926.2
8	23,754.5	17,291.5	6,463			21	1,131.2
9	27,346	27,346				13	2,103.5
10	11,228	10,238	990			11	1,020.7
計	129,314	54,875.5	43,657.5	30,781		115	1,124.5

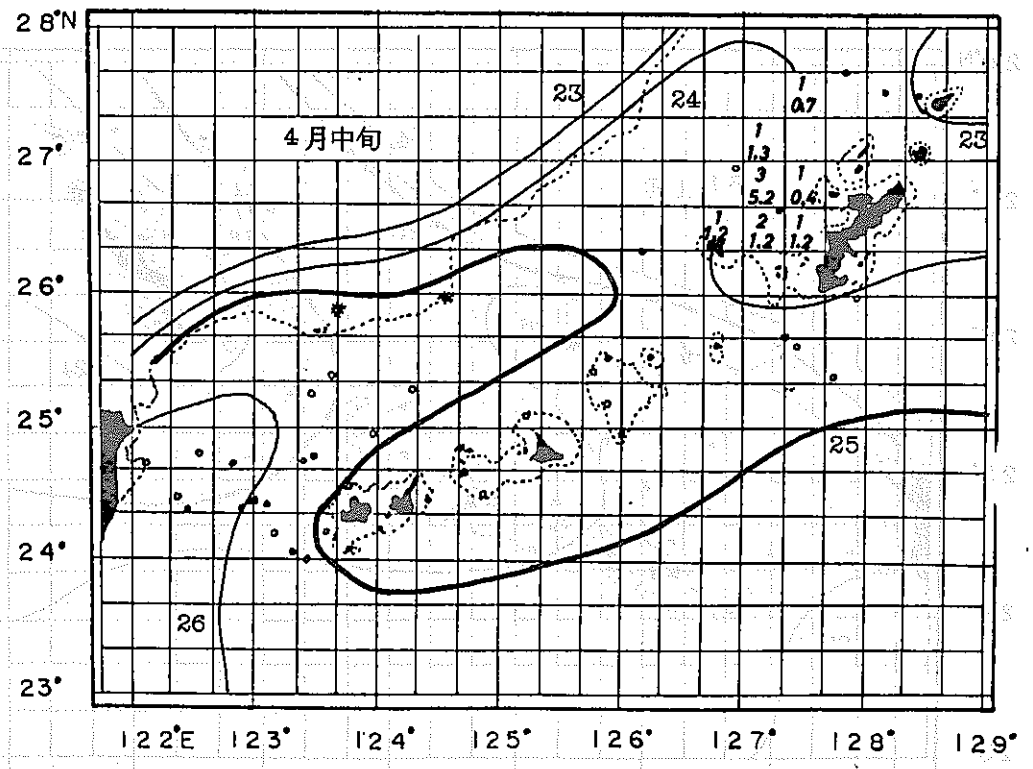
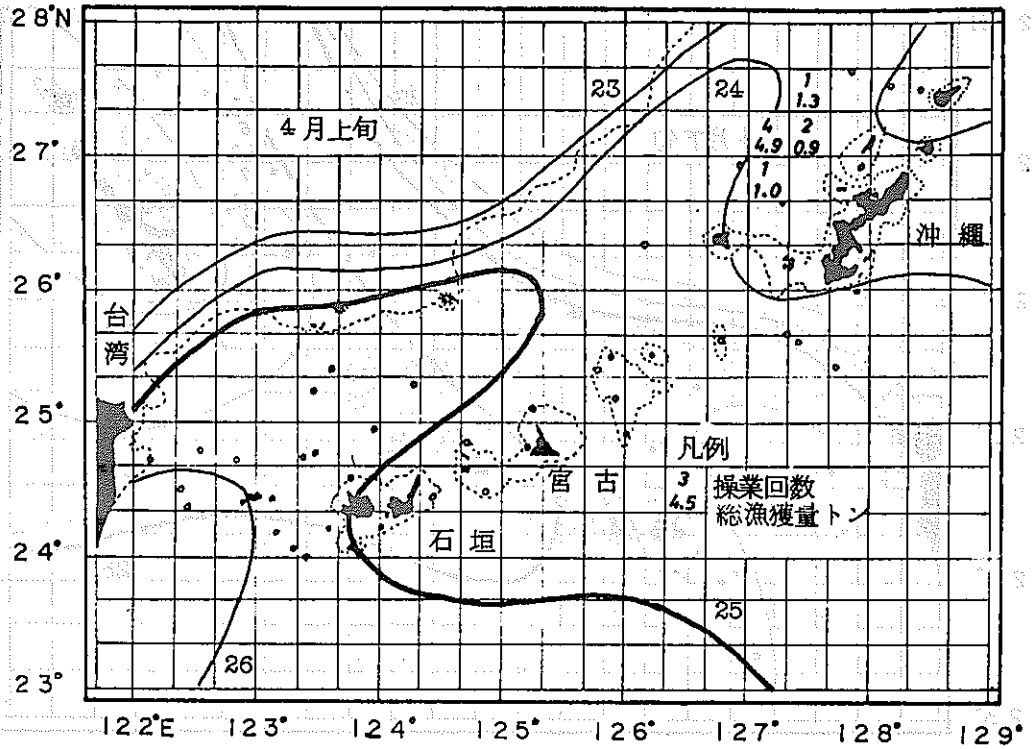


図1-3 カツオ漁場図と表面水温分布 (本部漁協カツオ漁獲量資料 昭和55年度長崎海洋気象台西日本海況旬報)

